

問1 佐渡島では、鉱山跡の観光活用に加え、農業の「第6次産業化」による地域活性化が進められています。この「第6次産業化」の内容を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）

1. 農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。
2. 農地を工業団地として整備し、最先端の宇宙開発拠点や精密機械工場を誘致して、地域の雇用を創出すること。
3. 都市部への人口流出を防ぐため、近隣の都市へ通勤する住民に対して、交通費や住宅費を自治体が全額補助する制度を導入すること。
4. 食料自給率を向上させるため、全ての農地を国が管理し、生産された農産物をすべて海外へ輸出する仕組みを作ること。

問2 中部地方で見られる「6月から10月にかけての収穫量が、11月から5月の収穫量を大幅に上回る」というレタスの生産状況を説明した文として、適切なものはどれか、選びなさい。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培が行われ、出荷時期を平地とずらしている
2. 冬の温暖な気候とビニールハウスを利用した促成栽培が行われている
3. 大消費地である東京や名古屋に近いため、通年で新鮮な野菜を出荷している
4. 機械化が進んだ大規模な農地で、年に2回異なる農作物を栽培している

問3 中部地方の中央部を南北に貫くように、3,000m級の山々が連なる3つの山脈があります。北から順に位置するこれら3つの山脈の名称をまとめた、「日本アルプス」の構成として正しいものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈
2. 飛騨山脈、越後山脈、赤石山脈
3. 飛騨山脈、木曾山脈、奥多摩山地
4. 奥羽山脈、越後山脈、赤石山脈

問4 日本の工業に関する統計において、2020年の製造品出荷額等が約44兆円に達し、全国1位となっている県の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 愛知県
2. 神奈川県
3. 大阪府
4. 宮城県

問5 長野県の諏訪盆地では、かつて盛んだった製糸業の伝統や、空気や水がきれいな自然環境を活かして、時計やカメラ、医療機器といった高度な加工技術を必要とする産業が発達しました。このような工業の種類を何といいますか。（2026年 山形公立入試 類似）

1. 精密機械工業
2. 石油化学工業
3. 重化学工業
4. せんい工業

問6 冬の降水量が目立って多い日本海側の地域や、夏から秋にかけて降水量が増える太平洋側の地域と比較して、冬の気温が氷点下まで下がりやすく、かつ年間の降水量がこれら2つの地域よりも大幅に少ないという特徴を持つ甲府盆地などの地域に当てはまる気候区分を選択してください。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 中央高地の気候
2. 瀬戸内の気候
3. 北海道の気候
4. 南西諸島の気候

問7 日本の中央部、内陸に位置するある県では、2022年の統計において、リンゴの収穫量割合が18.0パーセントで全国2位、ブドウの収穫量割合が17.8パーセントで全国2位となっています。この県はどこですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）

1. 長野県
2. 青森県
3. 山梨県
4. 岡山県

問8 長野県の観光施設への訪問者数に関する統計において、東京都や京都府、沖縄県と比較した際の長野県の特徴として最も適切な説明を選びなさい。なお、この統計において長野県は「山・高原」の訪問者が1,000万人を超えており、「温泉」や「歴史・文化」の項目も高い数値を記録していますが、「ショッピングなどの都市型観光」の割合は他の都県に比べて低くなっています。（2017年 岩手県公立入試 類似）

1. 豊かな自然景観や温泉、スキー場といったスポーツ施設に加え、歴史的な寺社や城跡などの文化遺産が主要な観光資源となっている。
2. 巨大なショッピングモールやテーマパークを中心とした都市型のレクリエーション施設が、観光客を集める最大の要因となっている。
3. 温暖な気候と広大な海岸線を活かしたマリンレジャーが盛んであり、冬場の集客よりも夏場の観光客数が圧倒的に多い。
4. 最新の科学技術を展示するパビリオンや、大規模な国際会議場などのビジネス拠点としての施設が観光の中心となっている。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 農業者が生産（第1次産業）だけでなく、食品加工（第2次産業）や流通・販売（第3次産業）まで一体的に取り組み、付加価値を高めること。	第6次産業化とは、第1次産業（農業・水産業など）の従事者が、第2次産業（製造・加工）と第3次産業（流通・販売・観光など）を融合させることで、農産物に新たな付加価値を生み出す取り組みです。佐渡島でも、特産品を使った加工品の開発や直売所の運営など、農業を多角化することで地域の所得向上や産業の活性化を図っています。
問2	<b>答え 1</b> 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培が行われ、出荷時期を平地とずらしている	中部地方（特に長野県や群馬県の高原地帯）では、夏の涼しさを利用して野菜の成長を遅らせ、他の地域が暑さで生産できない時期に出荷する「抑制栽培」が盛んです。これにより、夏のレタス市場において圧倒的なシェアを占めています。
問3	<b>答え 1</b> 飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈	中部地方には、北から飛騨山脈、木曾山脈、赤石山脈という険しい3つの山脈が並んでおり、これらはまとめて日本アルプス（別名：日本の屋根）と呼ばれます。越後山脈は新潟県側に位置する山脈であり、奥多摩山地は関東地方に位置するため、日本アルプスの構成には含まれません。
問4	<b>答え 1</b> 愛知県	中京工業地帯の中核を担う愛知県は、自動車工業を中心とした産業が極めて盛んです。製造品出荷額等は長年にわたって全国1位を維持しており、2位以下の都道府県を大きく引き離しているのが特徴です。一方、人口も多い神奈川県は京浜工業地帯に含まれますが、製造品出荷額等では愛知県に及びません。
問5	<b>答え 1</b> 精密機械工業	諏訪盆地は、かつて製糸業が盛んな地域でしたが、戦時中に大都市から工場が疎開してきたことや、製品が小型・軽量で輸送費の負担が少ないこと、さらに高度な技術を持つ労働力が確保しやすかったことから、時計やカメラなどの製造が主力となりました。この地域は、その発展の様子から「東洋のスイス」とも呼ばれました。
問6	<b>答え 1</b> 中央高地の気候	山梨県の甲府盆地や長野県の長野盆地などは、季節風の影響を直接受けにくい内陸に位置しているため、他の地域と比較して降水量が少なくなります。冬は放射冷却などの影響で冷え込みが厳しく、夏は日中の気温が非常に高くなる盆地特有の性質を持っています。
問7	<b>答え 1</b> 長野県	長野県は、リンゴの収穫量が青森県に次いで全国2位、ブドウの収穫量が山梨県に次いで全国2位となっています。中央高地に位置し、標高が高い地域や盆地が多く、冷涼な気候を活かした果樹栽培が盛んです。選択肢のうち、青森県はリンゴが1位ですがブドウは上位ではなく、山梨県はブドウが1位ですがリンゴは上位ではありません。
問8	<b>答え 1</b> 豊かな自然景観や温泉、スキー場といったスポーツ施設に加え、歴史的な寺社や城跡などの文化遺産が主要な観光資源となっている。	長野県は日本アルプスに代表される険しい山岳地帯に位置しており、その地形を活かした「山・高原」でのレジャーや、冬の積雪を利用した「スキー場」が大きな強みです。また、火山地帯であることから「温泉」が豊富であり、善光寺や松本城といった「歴史的な寺社や城跡」も併せ持っています。一方で、東京のような大規模な商業施設が集中する都市型観光の比重は相対的に低いのが特徴です。